

山梨県での調査の開始

研究分担者 横道洋司（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座 准教授）

山梨県においては、中央市と南巨摩郡早川町から承諾を得て調査についての協定を結んだ。平成28年度は、8月から9月にかけて要介護認定を受けていない高齢者に当研究班研究のベースラインとなる調査票を配布し、フォローアップを開始することとなった。

A. 研究目的

山梨県の要介護となっていない高齢者が現在おかれている社会的・医療的・経済的状況を把握し、その後介護が必要となったか、慢性疾患や急性疾患に罹患したか、についてフォローアップし、山梨県の高齢者を取り巻く環境がその後の人生でどのような医療を受けることになるかを検討する。この結果は日本の高齢者について調査する当研究班のデータの一部となり、日本の高齢者介護予防についての横断研究・縦断研究エビデンスの元となる。山梨県中央市は県内では相対的に都会的で若い世代も居住する市である一方、早川町は山間に位置し、その高齢化率は非常に高い。この2市町を合わせて調査することで山梨県内の高齢者がライフステージ上経験する特徴を反映したデータとなることが期待される。それを分析し、中央市・早川町・山梨県内の住民に結果をお知らせし、介護や慢性疾患の予防に役立てて貰いたいと考えている。

B. 今年度の調査について

中央市・早川町の行政担当者と3者協定を締結した。続いて、両市町で研究のためのベースライン調査として調査票が送付された。調査結果は回収され、電子化されたデータとなった。

C. 今後の計画について

当研究班の高齢者についての全国調査データから、高齢者の介護予防、慢性疾患による障がいや予防する社会的・医療的・経済的因子を検討する解析を行い発表することを計画している。また、高齢者が健康を維持したり疾病を予防したりするための因子について、他県と比べて山梨県特有のものがいないかも検討し、フィードバックしたい。これは市町・県が発行し住民サービスとして配布する冊子に掲載し、高齢者や医療者が参加する研修会で長生きするために推奨される行動や習慣、日々の注意点として発信していきたいと考えている。

D. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

E. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし